

## 第4回近畿&中国ブロック YS 意見交流会 議事録

開催日時：令和2年11月26日 15時～17時 京都府産業廃棄物協会 & オンライン (ZOOM)

### 1.出席者

京都府青年部会長 岡本、山口県青年部幹事長 内田、大阪府青年部会 (OJK) 幹事 白坂、岡山県青年部副会長 的場、兵庫県青年部副副会長 武本、鳥取県青年部事務局長 高岩、奈良県青年部会幹事 川崎、監事 三井、滋賀県青年部副副会長 川下、和歌山県青年部副副会長 大瀧  
全国産業資源循環連合会近畿ブロック長 岡村

WEB 参加：兵庫県青年部部会長 伊地知、島根県青年部副副会長 石橋

以上京都 11 名、WEB 参加 2 名 合計 13 名

### 2.岡村ブロック長からの挨拶

コロナがこんな状況の中、又お忙しい中、京都に集まっただきありがとうございます。この会は、ブロックや各府県の青年部を担う人たちを養成するという意味でもいい機会だと思う。私が部会長になる前に、前の会長に何したらいいんですかと聞いたら、あれやって、これやってと教えてもらったけど、結局、よくわからないまま手探りで会長をして、次の会長にも同じように伝えてたと思う。

この会で、事務局担当者が、他府県との意見交換をすることは本当にいいと思う。

### 3.開催趣旨の説明 (武本)

今回は、正直、こんな状況でやるべきかすごく悩みました。コロナを軽視しているわけではないですが、あえて、こんな時だからこそ感染対策万全に、今回は京都府事務局にも全面協力をいただき、開催することにしました。

YS の意味ですが、Y はユース⇒青年部会という意味があります。S はセクレタリー、つまり秘書です。私たちは、秘書的な役割を担うことで、部会長がリーダーシップを発揮できるよう支えることで、青年部会も活発で有意義な活動ができと思っています。

### 4.以下の内容について意見交換 (インタビューシート参照)

#### ①現在の活動について

どの府県でも、コロナの影響で集まるのが難しく、オンライン会議ツールを使って幹事会を開催。集まる行事の開催が難しいために部会員とのコミュニケーションが取りづらくなっているのが現状。そんな中でも、部会長、副副会長などの幹部育成や部会員増員といった今後の青年部会運営に影響する課題に対してどうしていくか考えていかなければならず、コロナは様々な影響をもたらしているというのが共通認識ではある。現在の活動内容を含めて、新たな取り組みについて意見交換を行いました。

【岡山】 コロナで何も活動ができないので、組織体制の強化を図るべく活動している。

具体的な活動⇒今までは会長が全部決めていたこと⇒3つの委員会を立ち上げ、会長から仕事を取って役割別にシェア体制に。また、会長、副会長は頻繁にランチミーティングを行って情報共有をしている。

- ・3つの委員会⇒環境学習、教育研修、交流
- ・委員会の運営について⇒委員会の核に幹事を配置し、幹事以外の会員を委員会に勧誘し出席してもらっている。こうすることで、会長、副会長の負担を軽減し、今後はみんなが役職に就きやすい組織づくりを目指して活動中。

#### 【兵庫県】

今年度から青年部会の組織体制が変わったため、親会事業の企画、運営を基本とした活動をしている。青年部会独自の活動は、岡山県同様、青年部会の中で役割ごとに3つの委員会に分け、それぞれに課題を取り組んでもらっている。

また、コロナの影響で協会の収益事業でもある研修会がすべて中止に。協会収入が激減したこともあり、ちょうど広報誌リニューアルに合わせて、広告スポンサーの募集や賛助会員の勧誘を始めた。

正会員は、今後減少していくと予想。であれば私たちの業界にアピールしたい事業者をターゲットに賛助会員になってもらい、広告を出してもらい、青年部にも参加してもらおうということで、今活動している。

#### 【山口県】

今まで行っていた山口大学との合同研修会がZOOM形式となり、準備などを進めている。

100名の大学生とのZOOMでの研修をやったことがないので、準備に時間がかかっている。

12年ぶりに部会長が交代したが一度も全員が集まっていなかったが、ポロシャツと名簿作成を行った。

#### 【大阪】

コロナの状況を見ながら少人数での施設見学や野外でのBBQ、ゴルフなどを計画している。

また、WEBを使った基礎的な講習会を予定している。

#### 【鳥取】

基本、オンライン会議の推進。今までは、一部の人に役割が集中していたので、

役割を分けていくことや次世代の育成を考えていく必要があるという部分でもオンライン会議のノウハウを部員全員にトライして頂きたい。

#### 【奈良】

10/8 今年初めての顔合わせをオンラインで行い、各社の近況報告と他社への施設見学会の実施について確認した。

#### 【島根】

今までは県外に施設見学に行っていたが、県内の業者を視察し交流等に力を入れていきたい。

10月23日に行った青年部会員の解体工事見学、処理場の見学、木材リサイクル施設を見学し、大変勉強になる研修会となり、施設見学会後の懇親会では久々に会えたこともあり、交流が深めることができた。

### 【和歌山】

和歌山はコロナ感染にすごくナーバスな面があり、事業を予定していても土壇場でも中止にせざるを得ない状況。とはいえ、コロナに配慮して忘年会などを開催する予定。

### 【京都】

今までは、部会長が全部自分でしていたが、今は、副部会長や幹事に役割を任せている。今年度の事業は中止が多かったが、役員会・例会はついて2か月に1回行い、チャリティーゴルフも交流会として行った。来年度予定している勉強会や研修旅行は実施予定。

また、電子契約についての勉強会を1月に開催予定。

③今後の課題と方策やっぱり一番多かったのは、会員の増員とコロナ禍での会員同士のコミュニケーションの取り方、青年部の魅力をどう発信するかについて意見交換を行った。

### 【大阪】

大阪は親会から独立した組織で現在会員数は80名。先輩たちが引っ張ってくれてますし、息子は絶対入って教育されるみたいな感じが当たり前なのと、同じ会社から数名入ってくると二人目からは会費が安くなるようにしています。また、青年部に入ると知識と情報が得られ、課長、部長クラスが入ると将来の経営者の育成にもなると伝えて入ってもらってます。

### 【岡山】

部会員については、先輩たちが引退したら人数が減るので、名簿を見ながら当たっていき、後輩育成をしている。また、先輩には、後輩をつくってから辞めるようお願いしています。

### 【滋賀】

県独自の魅力の出し方って難しい。役員になることの抵抗を感じたり、やりがいて何かなと。

### 【奈良】

基本的には親父が辞めたら、息子を入れるという感じです。

青年部に入っても、ブロック事業に参加したりすると、他府県とも繋がって色々仕事する上で、役に立つこともあるけど、それがなかなか今、伝えられてない。昔は、とりあえず入って、一緒に遊びながらそういうメリットについて感じていったけど、今はそういうのはない。

### 【大阪】

確かにそれはありますね。あと、青年部入ってよかったのは、自分とこで処分できないものも青年部に入っていたら、できるようになるという点です。

### 【鳥取】

弊社は事業系もやっているのですが、一度全焼しました。その時に、知り合いの同業者に車を借りて作業

に当たれたので、業務に支障をきたすことはありませんでしたけど、繋がりがなかったらそういうことが出来ないですよ。

#### 【大阪】

他府県での処分許可がないのに、お客さんから依頼されたときは、会社にいるだけやったら、ネットで探すしかないけど、青年部にいたら、電話一本で相談できるし、受け入れてもらえる。ホームページで見つけて問い合わせてもだいたい、断られる。正面から行くんじゃなくて、勝手口から入れるみたいな。。

#### 【兵庫】

魅力を発信するというでも、今は何も出来てないと思う。発信が少ない。

#### 【奈良】

昔、ネットもない時代でも青年部に入って仲間ができてきた。今はネットもあるし、発信する方法なんていっぱいあると思うからやりやすいと思う。

#### 【岡山】

魅力を伝えると言えば、さっき兵庫県での賛助会員の話や広報誌の話ですごく刺激を受けた。そういう方法があったのかと思った。

### ④他府県に聞いてみたいこと

奈良⇒全員に質問

協会の会員で異業種っていますか？

#### 【奈良】

民法も改正されて相続とか変わったり、事業継承についてももう少し知っといたほうが良いと思って、親会で、行政書士とかの専門家を会員に入れたらどうやという提案に難色を示されたので、他府県ではあるのかなど。

#### 【兵庫】

うちでは賛助会員に異業種がいます。機械や消耗品を扱う商社や電力会社など。今のところは、サムライ業はないけど、今後は勧誘していきたい。今、ある賛助会員は、協会員に対してフレコンなど販売して、手数料として協会の売りに貢献している事例がある。その事例を活用して、重機メーカーや車両メーカーなど業務に必要な設備やノウハウなどを販売する業者に声をかけて賛助会員の勧誘をしていく予定ではある。

また、賛助になって、青年部に人を出してもらうことで、近畿及び全国とのつながりができることで、営業にもつながるので、そこはしっかりと今の青年部員がサポートするというのをメリットにうたっている。また、一般社員の場合は、青年部幹部との名刺交換をサポートしてあげることで、会社でのメンツもたつという部分では、会社からの理解を得やすい。だから名刺交換は必ず促し、主要メンバーには必ず紹介するようにしている。

鳥取⇒皆さん、コロナでコミュニケーションどうしてますか？れん楽網使いこなせてますか？

#### 【岡山】

コミュニケーションはコロナになってからは正直取りづらいけど、交流の仕方で、ゴルフ、ボーリング、釣りなど、みんなができることを探して企画するようにしている。ゴルフだけだと、ゴルフしない人もいたりするので、まだ計画段階ですけど。

#### 【兵庫】

れん楽網の使い方を配布して、基本的な内容確認ぐらいは全員出来る。ただ見るか見ないか。

基本的には、れん楽網の機能で回答してもらうようにしている

コミュニケーションは、コロナとか関係なく、何か活動があればリマインドメールを出したり、参加してもらったら、後のフォローメッセージを送ったりという感じで、なるべく接触する機会を増やすようにしている。でもこれが、誰でもできるか？というところじゃないので、自分以外に出来る人を育てなきゃと思う。

以前、内田さんには言ったことがあります。女性会員をうまく活用して、副部長とかの役を付けて、会員のフォローや活動参加を促す役割をさせるのも一つ。

兵庫では、私（武本）がその役割を長くやっているの、そろそろ次を育てようとは思っている。なかなか難しいけど。

#### 【京都】

れん楽網と FAX の両方で連絡してもらっている。

#### 【大阪】

もちろん！れん楽網使いこなしています。

その他府県は、LINE やメッセージが主流という意見が多かった  
慣れるまでは使いにくいイメージが強い、使い方さえ知らない人もいます。

#### 【兵庫】

全国で、れん楽網を絶対！という強いメッセージを継続して出せば、利用率も上がると思う。

あと、他府県との繋がりが増えてきたら、権限が邪魔に思う。あれがなかったら、メールアドレスいちいち名刺で探さんでも、LINE や FB で繋がってなくても、メール送れるのにとすることはある。

#### 【和歌山】

和歌山は地域柄、コロナに対する反応が敏感なので、集まってということが出来てないので、コミュニケーションをどうとっていったらいいのかわからない。

れん楽網は、使い方がわかるまで、慣れるまでなかなかとつきにくいという感じ。

LINE やメッセージの方が早くて便利という意見もまだあるので、各府県の部会長だけでなく、使い方講習会などを活用して、推進していく必要がある。

また、コミュニケーションについては、やっぱり集まる方が取りやすいという感じもあるがコロナの状況がいつまで続くかわからないので、オンライン会議やハイブリッド型の会議に慣れていくしかない。ハイブリッド型の場合、オンラインで参加している人たちは、音が聞こえにくい場合があるので、マイクを必ず使う。また、研修会を実施する場合は、講師にパソコンにつないだマイクを付けさせることが必須。モゴモゴ話すことがオンラインで参加している人たちのストレスになり、満足度が落ちるという兵庫からのアドバイスがあった。

大阪⇒災害対策とかどうですか？立ち向かうことができますか？

滋賀⇒災害部会など設置していますか？

#### 【岡山】

うちは大豪雨で被災したのもあり、さっきも委員会で話してきましたが、協定だけでなく具体的に災害時どうするかというのを県と一緒に作っています。実は、大豪雨の時にうちの営業所も 1 つ流されてしまって、その時の教訓を活かして今は対策しています。

#### 【大阪】

被災した時って、自社がなくなったら、人を助けることもできないので、自社を守る何か対策とかも一緒にしていく必要があると思うのですが、その辺は皆さんどうしていますか？

知り合いの事業者で、水害が起こっても車さえあったら何とかなる！と、すごい駐車場作った会社があります。水害の被害にも遭わないし、被災時に地域住民の避難場所にもなるしという考えを持って、ただの駐車場ですけど、すごかったです。

#### 【鳥取】

災害協定や BCP を策定していても実際に、災害が起こったときに動けるかどうか、機能するかどうか

#### 【京都】

京都も平成 16 年に水害に見舞われており、その後京都府・京都市と当時の京都府産業廃棄物協会で防災協定を締結した。以降は有事の際、協会を通じて災害廃棄物の処理を行っている。一方会社では BCP を作成し訓練を実施しているが、災害規模によっては機能するか不安である。

#### 【兵庫】

協定はあるけど、どんな内容かどうかまではわからないから今度確認する。

ちょうどブロックの事業でも災害対策について考えているから、また岡山のノウハウも共有してほしい

#### 【和歌山】

災害が起こったときに、ごみを置く場所がない。田んぼしかないけど田んぼを仮置き場にするわけにはいかないから、何かせなと思いつつ、何も動けてないのが現状。

兵庫⇒島根県

インタビューシートで、県外の皆さんは同業者で仲がいいように見えるがその秘訣は？とありますが、これはどういう意味ですか？

【島根県】

青年部活動では仲良くしていても、入札とかになると色々とギクシャクしてしまうことがあって。。

【奈良】

基本的には一緒に活動して、飲んでというのをしていると自然と仲良くなるけど、仕事と別になるのは当たり前やと思う。

【兵庫】

秘訣は、「よく食べ、よく飲み、よく遊ぶ」ですね！

他の他府県も同意見。

兵庫⇒山口

山口大学での環境教育のきっかけって何だったんですか？

【山口】

うちの上村が仕事がらみで大学に調査を依頼したのをきっかけに、そこで意気投合し、協会でも何か一緒に出来ないかというところから始まり、今は2コマもらっています。

グレタさんの意見を紹介し、食料、衣料、プラスチックなどをテーマに考えてもらいました。

兵庫県⇒全員

今回は、情報交換したテーマをこちらで決めさせていただきましたが、こんなテーマも欲しいということがあれば、意見下さい。

【奈良】

各府県で研修会などしていると思うのですが、講師とかどうやって見つけていますか？

【京都】

京都の商工会議所で講師を探してくれるのでそちらを利用させてもらっていることがあります。

他の府県からの意見。

全国などや他団体での研修会などに参加した時に、いいなと思った講師を呼んでいる知り合いを通じて。。など

**【奈良】**

そういう情報を共有できれば、講師を探したり、悩んだりすることがなくなるので、この会で出来たらなと思う。

**【兵庫】**

講師ではないですが、第 1 回目この会をした時に岡本さんと、この会で何か情報共有できるようなシステムをつくれたらいいね！みたいな話をしたことがありました。今後はそういう機能も作っていくのもいいですね。

**【京都】**

以前に災害に遭った時に、各社の処理能力は調べたらわかるけど、受け入れの状況がわかると、スムーズに処理もしやすいという話をしていました。

**【兵庫】**

今、れん楽網で全国の活動が共有できるシステムができているじゃないですか？あれを活用するっていうのも一つですが、共通のフォーマットがあればいいですね。私も実際、あの機能をまだ使ったことないので、ちょっとうまく活用できる方法や仕組みを考えてみようと思います。

**4.次回の開催日時**

第 4 回 YS 意見交流会令和 3 年 2 月 9 日（ 火 ） 15：00 ～

候補⇒広島

※最初は、有志 4 人から始まったこの会も、人数がだいぶ集まるようになったので、もう少し意義のある活動にするため、施設見学の後に YS 意見交流会をして、食事会をする方向で次回は検討してみてはどうか？という意見が出たので、広島を候補として検討